






平成20年度 主催講座一覧


番 号	No.1	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	チューリップをつくろう	
日 時	4月12日(土) 10:00~12:00	
講 師	恩田 百合子 (インタープリター)	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	11名	
ね ら い	不要になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概 要	不要になった布地を使った手芸	
実 施 内 容	着なくなった洋服や使い古しのタオルなど、古布を再利用し、チューリップの手芸作品を作った。	
参加者の反応	古布からでも立派な作品ができ、完成した作品に満足している様子だった。初来館の方が多く、主婦層を中心とした新しい来館者の開拓ができた。	
材 料・道 具	古布、手芸綿など	
備 考		


番 号	No.2	
区 分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講 座 名	じしゃくのなぞ	
日 時	4月13日(日) 10:00~12:00	
講 師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対 象	小学生以上 親子	
参 加 人 数	41名	
ね ら い	磁石の性質について学び、身近にある科学への理解を深める	
概 要	磁石の性質について実験を通して学ぶ	
実 施 内 容	磁石にくっつくもの、くっつかないものを実験しながら調べ、磁石の持つ性質について学んだ。実験に対して自分なりに予想を立てた上で、結果を確認することで、子どもたちの考える力を養った。	
参加者の反応	実験を楽しみながら科学を学ぶことができた。自分自身で考え、大人顔負けの予想を立てる子どももいた。	
材 料・道 具	磁石、硬貨、金属など	
備 考		


番号	No.3	
区分	グリーンマップ	
講座名	eco-Tでグリーンマップづくり ～eco-T周辺の「春」を探そう～	
日時	4月19日(土) 9:30～13:00	
講師	グリーンマップWG	
対象	小学生以上	
参加人数	10名	
ねらい	グリーンマップの手法を使って、身近にある自然への関心を高める	
概要	eco-T周辺のグリーンマップづくり	
実施内容	eco-T周辺を散策し、水辺や田んぼ、里山に生息する春の生きものや植物を探してマップを作った。	
参加者の反応	eco-Tの周辺にも多様な植物や生きものが生息していることを発見し、驚いていた。	
材料・道具	地図、アイコン表、アイコンシールなど	
備考		


番号	No.4	
区分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講座名	べっこうあめを作ろう	
日時	4月27日(日) 10:00～11:00	
講師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対象	小学生以上 親子	
参加人数	21名	
ねらい	砂糖の化学変化について学び、身近な科学への理解を深める	
概要	砂糖を使った簡単なクッキングによる科学教室	
実施内容	他のものは一切使わず、砂糖のみでべっこうあめとわたがしをつくった。砂糖があめに変化する科学的な仕組みについて学んだ。	
参加者の反応	親子で楽しんでもらった。かんたんにあめが作れることに子どもも大人も驚いていた。	
材料・道具	砂糖、フライパン、ホットプレート	
備考		


番号	No.5	
区分	エコクッキング	
講座名	子どもエコクッキング ～蒸しパン編～	
日時	5月3日(土) 10:00～12:00	
講師	エコクッキングWG	
対象	小学4～6年生の親子	
参加人数	22名	
ねらい	簡単なお菓子づくりを通してエコクッキングの手法を学ぶ	
概要	エコクッキングでお菓子づくり	
実施内容	子どもたちを対象とした蒸しパンづくりを行った。小麦粉や黒砂糖の計量も、子どもたちにチャレンジしてもらった。手づくりの素朴なお菓子の良さを体験した。大人は炊き込みご飯とお吸い物をつくり、みんなでおいしく食べた。	
参加者の反応	父親の参加も多く、にぎやかな雰囲気で行えた。	
材料・道具	小麦粉、ベーキングパウダー、卵、牛乳、砂糖など	
備考	ゴールデンウィーク講座として実施	


番号	No.6,10	
区分	工作・クラフト	
講座名	紙すき教室 ～再生紙を作ってみよう！～	
日時	5月3日(土) 13:30～15:30 5月6日(火) 10:00～12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	18名(5/3)、19名(5/6)	
ねらい	紙すき体験を通して、紙のリサイクルについて学ぶ	
概要	牛乳パックを使った紙すき体験とレクチャー	
実施内容	牛乳パック、新聞紙、広告などを使い、再生紙はがきをつくった。紙の分別や古紙リサイクルの仕組みについても話をした。	
参加者の反応	親子で紙すきを楽しむとともに、紙の分別の大切さを感じている様子だった。	
材料・道具	紙すきセット、牛乳パック、新聞紙・色紙、ミキサー、アイロンなど	
備考	ゴールデンウィーク講座として実施	


番号	No.7,11	
区分	ワークショップ	
講座名	温暖化実験教室 ～温暖化の犯人はだれ？～	
日時	5月4日(日) 10:00～12:00 5月6日(火) 13:30～15:30	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	16名(5/4) 22名(5/6)	
ねらい	地球温暖化の仕組み、家庭で取り組める省エネについて学ぶ	
概要	エネルギーと地球温暖化を考える実験教室	
実施内容	実験キットを使い、発電の仕組みや二酸化炭素が発生するメカニズムを学んだ。また、普通の電球と省エネタイプの蛍光灯電球の消費電力を比較する実験も行った。最後にこれから家庭で取り組む省エネ行動を宣言し、それに取り組むことでどれくらい二酸化炭素が減らせるかを数値で示した。	
参加者の反応	年間の二酸化炭素削減量と節約できる金額を見せることにより、実際に取り組んでみようという意欲を引き出すことができた。	
材料・道具	実験セット(愛知県温暖化防止活動推進員のプログラムを使用)	
備考	ゴールデンウィーク講座として実施	

番号	No.8,9	
区分	工作・クラフト	
講座名	竹のおはしをつくろう	
日時	5月4日(日) 13:30～15:30 5月5日(月) 10:00～12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	21名(5/4) 26名(5/5)	
ねらい	割り箸の現状を学び、自然素材の活用法を考える	
概要	竹を使ったクラフト体験とレクチャー	
実施内容	棒状に削った竹を紙やすりで形を整え、箸をつくった。また牛乳パックと和紙を折って貼りあわせ、箸袋をつくった。つくった箸で豆つかみ競争をした。割り箸の消費量や森林や竹林の保全について解説を行い、資源を有効に使うことの重要性を伝えた。	
参加者の反応	手づくりの箸に愛着を持ち、自宅で使いたいという声が聞かれた。	
材料・道具	竹、紙やすり、牛乳パック、和紙、マジック、大豆	
備考	ゴールデンウィーク講座として実施	


番 号	No.12	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	～母の日の贈り物をつくろう～	
日 時	5月10日(土) 10:00～12:00	
講 師	恩田 百合子 (インタープリター)	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	22名	
ね ら い	新聞紙、牛乳パックを活用した手芸を楽しみ「もったいない」の精神を育む	
概 要	新聞紙を使ったコサージュづくり	
実 施 内 容	新聞紙を型に切り重ね合わせ、コサージュを作った。また、牛乳パックに和紙を貼り合わせプレゼント用の箱を作った。	
参加者の反応	新聞紙や牛乳パックから素敵な作品ができることに驚くとともに、自分の作った作品を気に入っている様子だった。	
材 料 ・ 道 具	新聞紙、硬化スプレー、牛乳パック、和紙	
備 考	ひまわりネットワークの取材あり	


番 号	No.13	
区 分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講 座 名	ハングルを読もう	
日 時	5月17日(土) 9:30～12:00	
講 師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対 象	小学4年生以上	
参 加 人 数	12名	
ね ら い	外国の言葉・文化への興味・関心を高める	
概 要	ハングルの読み方講座	
実 施 内 容	韓国の文字、ハングルの読み方を学んだ。在日インド人をゲストに招き、他国のごみ事情についても学んだ。	
参加者の反応	短い時間の中、小学生でもハングルの読み方を理解できた。外国への興味・関心を高めるきっかけとなった。	
材 料 ・ 道 具	テキスト、韓国の新聞	
備 考		


番 号	No.14	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	父の日のメッセージカードを作ろう！	
日 時	6月14日(土) 10:00~11:30	
講 師	恩田 百合子 (インタープリター)	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	20名	
ね ら い	不要になった包装紙を活用した手芸を楽しみ「もったいない」の精神を育む	
概 要	包装紙を使ったメッセージカード作り	
実 施 内 容	包装紙を使った切り紙でメッセージカードを作った。また、家庭で使わないうちわを切り絵で飾り付けリメイクした。	
参加者の反応	包装紙の柄を上手く使い、立派な作品を作っていた。友人や家族などに贈りたいという声が聞かれた。	
材 料 ・ 道 具	包装紙、色紙、リボンなど	
備 考		


番 号	No.15	
区 分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講 座 名	空気と水	
日 時	6月15日(日) 10:00~12:00	
講 師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	49名	
ね ら い	水を使った実験を通して空気の性質について学び、身近な科学への知識を深める	
概 要	空気の性質について学ぶ実験教室	
実 施 内 容	水を入れたコップの口に、紙や網戸などを置きひっくり返すなど、様々な実験を通して、空気の圧力について学んだ。	
参加者の反応	実験の予想を真剣に考える子どもの姿と、それを見守る保護者の姿が印象的だった。	
材 料 ・ 道 具	紙コップ、紙、網戸、スポット、ストッキング、パケツなど	
備 考		


番号	No.16,17,18,19	
区分	工作・クラフト	
講座名	キャンドルづくり	
日時	6月21日(土)10:00~11:30,13:30~15:30 6月22日(日)10:00~11:30,13:30~15:30	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	16名(6/21午前)、28名(6/21午後) 25名(6/22午前)、22名(6/22午後)	
ねらい	廃食用油を使ったクラフトを通して、油が環境に与える負荷について考える。また、100万人のキャンドルナイトの取り組みを知り、スローライフへの関心を高める	
概要	廃食用油を使ったクラフトとレクチャー	
実施内容	廃油と不要になったクレヨンを使ってキャンドルを作った。キャンドルナイトの意味や、家庭から出る生活排水が環境に与える負荷について学んだ。	
参加者の反応	カラフルなキャンドルのできばえに満足した様子で、「自由研究でつくってみる」「廃油せっけんもつくりたい」という意見が出た。	
材料・道具	廃食用油、紙ひも、油凝固剤、クレヨン、びん容器など	
備考		


番号	No.20	
区分	工作・クラフト	
講座名	七夕 in eco-T 水鉄砲づくり	
日時	7月6日(日) 14:00~15:00	
講師	山口 重春 (インタープリター)	
対象	小学生以上	
参加人数	25名	
ねらい	昔からある自然素材を使った遊びを体験し、現代の暮らしを見つめ直す	
概要	竹を使ったクラフト	
実施内容	荒れた竹林の竹と不要になった古布を活用し、竹製の水鉄砲を作って遊んだ。	
参加者の反応	自然の素材を使ったものづくりを親子で楽しんでいる様子で、保護者も子どもの頃を思い出しながら、水鉄砲遊びを楽しんでいた。	
材料・道具	竹、ぼろ布、タコ糸など	
備考	七夕 in eco-T 内の講座として実施	


番号	No.21	
区分	かんたんエコ手芸教室	
講座名	はぎれで動物のブローチをつくろう！	
日時	7月12日(土) 10:00~12:00	
講師	恩田 百合子 (インタープリター)	
対象	中学生以上	
参加人数	22名	
ねらい	不要になった布地を活用した手芸を楽しみ「もったいない」の精神を育む	
概要	不要になった布地を使った手芸	
実施内容	シャツなど不要になった布地を活用し、ねこやふくろうのブローチを作った。生活の中のエコについての簡単なクイズも行った。	
参加者の反応	参加者同士が交流しながら手芸を楽しんでいた。また、参加者から布地の提供があり、講座で活用した。	
材料・道具	古布、綿、ししゅう糸、ビーズなど	
備考		


番号	No.22	
区分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講座名	世界中の文字を書こう	
日時	7月13日(日) 10:00~12:00	
講師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対象	小学3年生以上	
参加人数	17名	
ねらい	いろいろな国の文字を紹介し、国際的な視野を育む	
概要	様々な国の文字について学ぶ	
実施内容	ロシアやインド、エチオピアなど世界中で使われている文字について学んだ。	
参加者の反応	少ない時間の中でたくさんの国の文字を学ぶことができ、満足した様子だった。文字を知ることによって今まで関心のなかった地域への興味関心を持つきっかけをつくることできた。	
材料・道具	テキスト	
備考		


番号	No.23	
区分	エコクッキング	
講座名	親子エコクッキング ～夏のランチ編～	
日時	7月26日(土) 10:00～13:00	
講師	エコクッキングWG	
対象	小学生と保護者	
参加人数	13名	
ねらい	体験を通してエコクッキングの方法を身につける	
概要	地産池消や旬の食材を活用したエコクッキング	
実施内容	そうめんづくりを通して、ゆで汁を何度も使い、最後は洗剤として有効利用する知恵を伝えた。子どもたちが中心となって料理をつくった。	
参加者の反応	子どもが主体となって取り組むことができた。つくり方は難しすぎず、子どもたちも料理の出来に満足した様子だった。	
材料・道具	そうめん、キュウリ、トマトなど	
備考		


番号	No.24	
区分	ジュニアインタープリター	
講座名	ジュニアインタープリター育成講座	
日時	8月2日(土) 9:30～16:00	
講師	eco-T事務局	
対象	小学4年生～中学3年生	
参加人数	4名	
ねらい	ごみの減量や分別の必要性を多くの人に伝えられる子どもを育成する	
概要	プラスチック製容器包装資源化施設の現場見学とレクチャー、および発表会	
実施内容	プラスチック製容器包装資源化施設の見学やごみの現状や分別についてのレクチャーを行い、見てきたこと・感じたことを模造紙にまとめ、保護者の前で発表した。	
参加者の反応	現場の見学を通して、分別が徹底されていない現状、不適物が混じることで発生する臭い、手作業での分別作業の大変さがとても印象に残った様子で、発表でも自分の言葉で分別の大切さを伝えていた。	
材料・道具	テキスト、模造紙など	
備考		


番号	No.25	
区分	連携講座	
講座名	夏休みエコツアー	
日時	8月3日(日) 9:30~16:00	
講師	eco-T事務局	
対象	小学生以上	
参加人数	20名	
ねらい	里山での自然観察と里山の素材を使ったクラフト体験を通して、人の暮らしと里山とのつながりを見つめ直す	
概要	里山での自然体験とeco-Tでのクラフトをあわせたバスツアー	
実施内容	自然観察の森と連携したバスツアー。自然観察の森では観察会とカエル釣り、eco-Tでは竹はしづくりを行い、里山と暮らしのつながりを考えるきっかけづくりを行った。	
参加者の反応	里山での自然観察やeco-Tでのクラフトなど親子で体験できて楽しかったという声があった。	
材料・道具	竹、紙やすり、牛乳パック、和紙、マジック、大豆など	
備考	自然観察の森との連携講座、ボランティア1日体験会との連動講座	


番号	No.26	
区分	ボランティア1日体験会	
講座名	竹はしづくり講座のお手伝い	
日時	8月3日(日) 9:30~16:00	
講師	eco-T事務局	
対象	18歳以上	
参加人数	7名	
ねらい	講座を運営する側にまわることで、人に伝えることの充実感を体験する	
概要	エコライフを人に伝えるボランティアの1日体験会	
実施内容	午前中は、竹箸づくりと牛乳パックを使った箸袋づくりの方法と、箸から環境を考えるための発表に向けて準備をした。午後はエコツアー参加者を対象とした竹はしづくり講座のお手伝いと発表を行い、1日の活動をふりかえった。	
参加者の反応	参加者が喜んでつくっているのを見てうれしくなった、といった声が聞かれた。講座終了後、2名が市民ボランティア登録をした。	
材料・道具	竹、紙やすり、牛乳パック、和紙、マジック、大豆など	
備考	夏休みエコツアーとの連動講座	


番号	No.27	
区分	エコクッキング	
講座名	親子エコクッキング ～エコ・カレー編～	
日時	8月7日(木) 10:00～12:30	
講師	エコクッキング WG	
対象	小学生と保護者	
参加人数	17名	
ねらい	身近な料理からエコクッキングの手法を身につける	
概要	生ごみや水の使用量を意識したカレーづくり	
実施内容	カレーを親子でつくり、後片付けの際に使う水の量をはかってテーブルごとに競争した。	
参加者の反応	普段意識せず使っている水を、水道からではなく、ためておいたペットボトルからつかうことで、意識して使えばかなりの量を削減できることに参加者自身が気づいた。	
材料・道具	ジャガイモ、ニンジン、豚肉、カレールーなど	
備考		


番号	No.28	
区分	環境調査	
講座名	水辺の生きもの調査	
日時	8月7日(木) 13:00～15:00	
講師	河合 志郎 (インタープリター)	
対象	小学生と保護者	
参加人数	22名	
ねらい	生きものや水質など川の環境について調べ、私たちの暮らしと川の関わりについて考えるきっかけをつくる	
概要	川の生きもの調査と水質調査	
実施内容	eco-T 近くの川で水辺の生きもの調査を行った。指標生物や COD から川の汚れを調べた。	
参加者の反応	子どもだけでなく大人も自分が小さい頃の川の様子を思い返しながら楽しんでいた。比較的汚れている川だが、多くの生き物が生息していることに驚く子どもがいた。河川の汚れや生きものへの影響について関心を持つきっかけになった様子だった。	
材料・道具	水辺の生きもの調査セット、水質調査セット	
備考		


番号	No.29	
区分	グリーンマップ	
講座名	自由研究応援講座 ～グリーンマップをつくろう!～	
日時	8月10日(日) 9:30~12:00	
講師	グリーンマップWG	
対象	小学3年生以上	
参加人数	7名	
ねらい	自由研究でグリーンマップづくりに取り組み、自分の住んでいるまちの環境に良いところ、悪いところを調べる	
概要	グリーンマップの作り方のレクチャー	
実施内容	自由研究でグリーンマップづくりに取り組めるよう、通学路グリーンマップの作り方をグリーンマップワーキンググループのメンバーがレクチャーし、マップづくりの模擬体験ワークショップを行った。	
参加者の反応	模擬的にマップを作ることで、グリーンマップの作り方について体験的に理解することができた。実際に自分の家の周辺のグリーンマップを作った子どもが後日、作ったマップをeco-Tに持参した。	
材料・道具	アイコンシール、アイコン表、ペンなど	
備考		


番号	No.30	
区分	工作・クラフト	
講座名	竹のおはしをつくろう	
日時	8月23日(土) 10:00~11:30	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	14名	
ねらい	割りばしの現状を学び、自然素材の活用法を考える	
概要	竹を使ったクラフト体験とレクチャー	
実施内容	棒状に削った竹を紙やすりで形を整え、箸をつくった。また牛乳パックと和紙を折って貼りあわせ、はし袋をつくった。つくったはしで豆つかみ競争をした。割りばしの消費量や森林や竹林の保全について解説を行い、資源を有効に使うことの重要性を伝えた。	
参加者の反応	手づくりの竹はしで豆つかみができたことに喜びを感じている様子だった。	
材料・道具	竹、紙やすり、牛乳パック、和紙、マジック、大豆	
備考	1日ボランティア体験会の参加者がスタッフとして参加	


番号	No.31,32	
区分	ワークショップ	
講座名	Tシャツアートワークショップ	
日時	8月23日(土) 13:30~15:30 8月24日(日) 10:00~12:00	
講師	鈴木 公明(ジャイラ・メディアアート・アクト) 竹本 明子(ジャイラ・メディアアート・アクト) 茅守 隆志(理想科学工業株式会社)	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	16名(8/23) 11名(8/24)	
ねらい	全国で開催されているTシャツアート展と連携した展示・ワークショップを行うことで、eco-Tの認知度を高め、来館者を増やすことにつなげる。また、自分のお気に入りのTシャツに絵を描くことで、ものを大事にする心を育む。	
概要	環境とアートの融合を考えるワークショップ	
実施内容	ジャイラ・メディアアート・アクト(JMAA)スタッフによるオリジナルTシャツワークショップを行った。大きな布にみんなで自由に絵を描いた後に、Tシャツやバッグにイラストを描き、オリジナルの作品を作った。	
参加者の反応	最初に自由に描くことで、Tシャツを描くときにのびのびと描くことができた。展示とワークショップがセットになっており、好評だった。	
材料・道具	Tシャツ(国産、オーガニック) インク、筆、ドライヤー、アイロンなど	
備考	JMAA主催のTシャツ・アート展との連携講座、期間展示も連動して実施	


番号	No.33	
区分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講座名	ドライアイスで遊ぼう	
日時	8月24日(日) 10:00~12:00	
講師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対象	小学生以上	
参加人数	59名	
ねらい	二酸化炭素の科学的な性質について、理解を深める	
概要	二酸化炭素を使った実験教室	
実施内容	ドライアイスを使った実験や遊びを通して二酸化炭素の性質について学んだ。牛乳を冷やしてアイスクリームづくりも行った。	
参加者の反応	ドライアイスが気化したり、ろうそくの炎を消したりと、子どもたちは様々な実験を通して二酸化炭素の性質を理解できた様子だった。	
材料・道具	ドライアイス、フィルムケース、ろうそく、牛乳、砂糖など	
備考		


番号	No.34	
区分	エコクッキング	
講座名	みんなでエコクッキング ～お米を食べよう～	
日時	9月13日(土) 10:00～12:00	
講師	エコクッキングWG	
対象	3歳以上	
参加人数	17名	
ねらい	コメを使った料理からコメ食を見直す	
概要	コメを使ったエコクッキング	
実施内容	秋分の日にちなんでおはぎをつくった。食べ終わった後にはお米に関するクイズを実施し、お米の自給率や食が抱える環境問題について伝えた。	
参加者の反応	参加者はおはぎを自分たちでつくったことがあまりなく、昔ながらのつくりかたを伝えるよい機会となった。	
材料・道具	コメ、アズキ、砂糖など	
備考		


番号	No.35	
区分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講座名	宇宙への道	
日時	9月14日(日) 10:00～12:00	
講師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対象	小学生以上	
参加人数	44名	
ねらい	地球などの惑星や宇宙の大きさについて学ぶ	
概要	宇宙について学ぶ科学教室	
実施内容	模型や映像を用いて惑星の大きさや距離、宇宙の大きさについて学ぶとともに、地球にある水や空気、資源が惑星の大きさと比べるとほんのわずかであることを伝えた。	
参加者の反応	低学年には少し難しいテーマであったが、模型づくりなどを楽しみながら、宇宙について理解を深めた様子だった。	
材料・道具	太陽系の惑星の模型、太陽メガネ、大きなゴムボールなど	
備考		


番号	No.36	
区分	かんたんエコ手芸教室	
講座名	はぎれでコースターをつくろう！	
日時	9月15日(月) 10:00~12:00	
講師	恩田 百合子 (インタープリター)	
対象	小学生以上	
参加人数	9名	
ねらい	不要になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概要	不要になった布地を使った手芸	
実施内容	古布を細切りにしたものを活用し、コースターを作った。また、包装紙を使った絵合わせのクラフトを行った。	
参加者の反応	大人も子どもも夢中になってコースターを作っていた。	
材料・道具	切り裂いた布、毛糸、コースターづくりキット	
備考		


番号	No.37	
区分	おとなの社会見学	
講座名	おとなの社会見学バスツアー	
日時	9月21日(日) 9:30~17:30	
講師	eco-T事務局	
対象	18歳以上	
参加人数	11名	
ねらい	2050年における温室効果ガスを半減させることを担う世代(20~30代)への動機付け、および新しい気づきと出会いの場をプロデュースする	
概要	20代~30代が環境活動に関わるきっかけづくり	
実施内容	eco-Tと自然観察の森を訪問し、施設見学や観察会を行った。eco-TではセヴァンスズキのスピーチのDVDを鑑賞し、環境活動に取り組むことの大切さを伝えた。他、エコクッキング体験も行った。自然観察の森では悪天候のため、簡単な観察会と里山の生きものに関するクイズを行った。参加者同士が協力し合い、交流を深めながら、プログラムを実施した。	
参加者の反応	DVDの内容に衝撃を受けたり、エコクッキングへの関心が高まったりと環境への新たな気づきを引き出すことができた。	
材料・道具	セヴァンスズキ伝説のスピーチDVDなど	
備考	自然観察の森との連携講座	


番号	No.38	
区分	かんたんエコ手芸教室	
講座名	はぎれではし袋をつくろう！	
日時	10月11日(土) 10:00~12:00	
講師	板倉 三枝子 (インタープリター)	
対象	中学生以上	
参加人数	10名	
ねらい	不要になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概要	不要になった布地を使った手芸	
実施内容	はぎれの布を使ってマイはし袋をつくり、割りばしに関するクイズや森林破壊についてのレクチャーを行った。	
参加者の反応	はし袋づくりを通してマイはしに関心を持った様子だった。	
材料・道具	布(2枚)、ひも、大き目のビーズなど	
備考		


番号	No.39	
区分	工作・クラフト	
講座名	3R 工作教室 ~不用品でリサイクル万華鏡をつくろう!~	
日時	10月25日(土) 10:00~12:00	
講師	eco-T 事務局	
対象	小学生以上	
参加人数	12名	
ねらい	プラスチックを題材に、ごみの分別やごみの減量について理解を深める	
概要	プラスチック製容器包装を使ったクラフト	
実施内容	プラスチック製容器包装を使い、万華鏡を作った。プラスチック製容器包装の分別方法や3Rについてのレクチャーを行い、ごみ減量の必要性を伝えるとともに、これからの社会が石油資源とどう向き合っていくかを考えた。	
参加者の反応	クラフトではお弁当容器から万華鏡が作れることに驚きながらも、自分で作った万華鏡に満足している様子だった。レクチャーでは資源を大切に使うことの重要性を感じていた。	
材料・道具	プラスチック製のお弁当容器のふた、厚紙、包装紙、ビニル袋など	
備考		


番号	No.40	
区分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講座名	ごみと環境	
日時	11月9日(日) 10:00~12:00	
講師	河合 良一(市民ボランティア)	
対象	小学生以上	
参加人数	11名	
ねらい	プラスチックを燃やすと有害物質が発生する仕組みについて、理解を深める	
概要	ごみを燃やすと発生する気体について学ぶ科学講座	
実施内容	プラスチックなどのごみを燃やすと発生する気体(二酸化炭素など)や有害物質(ダイオキシンなど)について、原子模型を使いながら学んだ。	
参加者の反応	模型を使うことでなじみのない化学物質がイメージしやすく、子どもたちも理解しやすかった様子だった。	
材料・道具	原子模型、原子表など	
備考		


番号	No.41	
区分	かんたんエコ手芸教室	
講座名	エコキッチン編	
日時	11月15日(土) 10:00~12:00	
講師	恩田 百合子 (インタープリター)	
対象	小学生以上	
参加人数	18名	
ねらい	アクリルたわしや廃油せっけんづくりを通して、台所で取り組めるエコについて考える	
概要	台所で活用できるエコグッズづくり	
実施内容	家庭で余っている毛糸を使ったアクリルたわしづくりと、廃食油を使った廃油せっけんづくりを行った。子どもは指編みでたわしを作った。せっけんと合成洗剤の人体や環境影響の違いについても学んだ。	
参加者の反応	編み物の得手、不得手はあるものの、それぞれがアクリルたわしづくりを楽しんでいた。せっけんづくりやレクチャーも熱心に聞く参加者が多かった。	
材料・道具	毛糸、編み棒、廃食油、米のとぎ汁、苛性ソーダなど	
備考		


番号	No.42	
区分	ボランティア1日体験会	
講座名	廃油キャンドルづくり講座のお手伝い	
日時	11月16日(日) 9:30~16:30	
講師	eco-T事務局	
対象	18歳以上	
参加人数	11名	
ねらい	講座を運営する側にまわることで、人に伝えることの充実感を体験する	
概要	エコライフを人に伝えるボランティアの1日体験会	
実施内容	午前中は、廃油キャンドルづくりを実際に体験し、つくる際の注意事項等について学んだ。また、植物油の基礎知識や、油を流すことが環境に与える影響について学んだ。午後は廃油キャンドルづくりの開催側にまわり、講座の運営を体験した後で、1日の活動をふりかえった。	
参加者の反応	とても楽しかった、今日出会った仲間なのにチームワークができてうれしかった、これからも廃油キャンドルづくりをやってみたい、といった声が聞かれた。講座終了後、5名が新たに市民ボランティア登録をした。	
材料・道具	廃食用油、紙ひも、油凝固材、クレヨン、びん容器など	
備考	エコ教室～廃油キャンドルづくり～との連動講座	


番号	No.43	
区分	工作・クラフト	
講座名	エコ教室 ～廃油キャンドルづくり～	
日時	11月16日(日) 14:00~15:30	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	24名	
ねらい	廃食用油を使ったクラフトを通して、油が環境に与える負荷について考える。また、100万人のキャンドルナイトの取り組みを知り、スローライフへの関心を高める。	
概要	廃食用油を使ったクラフトとレクチャー	
実施内容	使用済みの植物油を使ったキャンドルづくりを行った。キャンドルナイトの意味や、家庭から出る生活排水が環境に与える負荷についても学んだ。	
参加者の反応	カラフルなキャンドルができあがり、出来映えに満足している様子だった。	
材料・道具	廃食用油、紙ひも、油凝固剤、クレヨン、びん容器など	
備考	ボランティア1日体験会との連動講座	


番号	No.44	
区分	エコクッキング	
講座名	エコクッキング講座 ～おかたづけ編～	
日時	12月10日(水) 10:00～13:00	
講師	エコクッキングWG	
対象	18歳以上	
参加人数	17名	
ねらい	掃除や片付けで取り組めるエコを学び、家庭での実践につなげる	
概要	重曹を使った片付けの方法を学ぶ	
実施内容	食器など、重曹を使って汚れを落とす体験をし、洗剤を使わなくてもきれいに汚れを落とす方法があることを学んだ。また、調理体験も行い、調理や食器の片付けなどで取り組めるエコについても学んだ。	
参加者の反応	参加者が多く、関心の高さを感じた。真剣な眼差しで話を聞いている方が多く、家庭での取り組みにつなげてもらえそうな様子だった。	
材料・道具	重曹、廃油せっけん、アクリルたわしなど	
備考		

番号	No.45	
区分	かんたんエコ手芸教室	
講座名	テディベアをつくろう	
日時	12月14日(日) 9:30～12:00	
講師	恩田 百合子 (インタープリター)	
対象	中学生以上	
参加人数	16名	
ねらい	不要になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概要	不要になった布地を使った手芸	
実施内容	着なくなった服や、使わなくなった布地を使って、クマのぬいぐるみづくりを行った。ボタンも家庭で余っているものを利用した。	
参加者の反応	作るのに少し手間がかかったが、その分完成した時の感動はひとしおで、自分の作ったぬいぐるみを気に入っている様子だった。	
材料・道具	古布、綿、ボタンなど	
備考		


番 号	No.46	
区 分	エコクッキング	
講 座 名	エコクッキング講座 ～さつまいもの郷土料理～	
日 時	12月21日(日) 10:00～13:00	
講 師	エコクッキングWG	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	18名	
ね ら い	簡単なおやつづくりを通してエコクッキングへの理解を深め、実践を促す	
概 要	サツマイモを使ったエコクッキング	
実 施 内 容	サツマイモを皮ごと使い、鹿児島の郷土料理ねぼだんごをつくった。	
参加者の反応	親子で協力しながらエコクッキングを楽しんでいた。また父親の参加もあった。	
材 料 ・ 道 具	サツマイモ、もち粉、きな粉など	
備 考	あったかエコット冬フェスタ内の講座として実施	


番 号	No.47	
区 分	工作・クラフト	
講 座 名	廃油キャンドルづくり	
日 時	12月21日(日) 14:00～16:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	18名	
ね ら い	廃食油を使ったクラフトを通して、油が環境に与える負荷について考える。また、100万人のキャンドルナイトの取り組みを知り、スローライフへの関心を高める。	
概 要	廃食油を使ったクラフトとレクチャー	
実 施 内 容	使用済みの植物油を使ったキャンドルづくりを行った。	
参加者の反応	親子でキャンドルづくりを楽しんでいた。またキャンドルナイトの取り組みについて初めて聞いたという家族も多く、関心を示していた。	
材 料 ・ 道 具	廃食油、紙ひも、油凝固剤、クレヨン、びん容器など	
備 考	あったかエコット冬フェスタ内の講座として実施 1日ボランティア体験会の参加者がスタッフとして参加	


番号	No.48	
区分	ジュニアインタープリター	
講座名	ジュニアインタープリター育成講座 バスツアー編	
日時	12月23日(火) 9:00~15:00	
講師	eco-T事務局	
対象	小学4年生~中学3年生	
参加人数	5名	
ねらい	ごみの減量や分別の必要性を多くの人に伝えられる子どもを育成する	
概要	資源の中間処理施設の見学とレクチャー、および発表会	
実施内容	市で回収されているペットボトルとビンの中間処理施設を訪れ、リサイクルの現場を見学した。その後、見てきたことを模造紙にまとめ、保護者の前で発表を行った。	
参加者の反応	現場では、中間処理の工程を見せてもらうだけでなく、分別作業の体験や、紛れ込んでいる不適物を目の当たりにすることで、作業の大変さ、分別の重要性を身を持って実感することができた。子どもたちが現場で感じたことを、保護者に伝えることで、保護者も分別の重要性を再認識していた。	
材料・道具	テキスト、模造紙など	
備考		


番号	No.49	
区分	ワークショップ	
講座名	eco-Tエコ掃除大作戦	
日時	12月27日(土) 10:00~15:00	
講師	eco-T事務局	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	27名	
ねらい	日頃の感謝の気持ちをこめてeco-Tを掃除し、エコな掃除を学ぶ	
概要	エコな掃除を実践する	
実施内容	インタープリターと事務局を中心としたメンバーで、12月のクリスマス展示の片付け、はたきがけや展示室のガラスふき、調理室の食器点検、展示物や学習グッズの整理整頓などを行った。	
参加者の反応	インタープリターが中心だった。お世話になっている施設がきれいになるのは気持ちがいい、といった声が聞かれた。展示物の整理をしながら、1年間の活動をふりかえるきっかけにもなった。	
材料・道具	掃除道具	
備考		


番号	No.50	
区分	かんたんエコ手芸教室	
講座名	うさぎのお手玉をつくろう	
日時	1月10日(土) 10:00~12:00	
講師	恩田 百合子 (インタープリター)	
対象	中学生以上	
参加人数	17名	
ねらい	不要になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概要	不要になった布地を使った手芸	
実施内容	シーツなどの不要になった布地を活用して、うさぎのお手玉を作った。	
参加者の反応	簡単に作ることができる作品だったため、自分の分だけでなく知り合いにも作ってプレゼントしたいという声が聞かれた。	
材料・道具	古布、綿など	
備考		


番号	No.51	
区分	講義	
講座名	地球にやさしい 省エネルギーのすすめ	
日時	1月17日(土) 10:00~11:30	
講師	原理史(愛知県地球温暖化防止活動推進センター) 原田信雄(アンシン建設工業株式会社)	
対象	大人	
参加人数	19名	
ねらい	住まいの省エネについて学ぶ	
概要	地球温暖化に関するレクチャーと省エネに配慮したリフォームの紹介	
実施内容	実際のリフォームの方法、特に断熱の方法について様々な工法を紹介し、リフォームによる省エネの効果について理解を深めた。	
参加者の反応	様々な省エネの工法の紹介があり、興味深く聞いている様子だった。リフォームを検討している参加者が、講座終了後に熱心にアドバイスを受けていた。	
材料・道具		
備考		


番 号	No.52	
区 分	エコクッキング	
講 座 名	みんなでエコクッキング ～大根料理～	
日 時	1月24日(土) 10:30～13:00	
講 師	エコクッキング WG	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	18名	
ね ら い	ごみの出ない調理方法を学び実践につなげる	
概 要	大根を使ったエコクッキング	
実 施 内 容	大根を丸ごと1本使ってお昼ごはんを作った。大根やにんじんを皮まで使い、5種類以上の料理を作った。	
参加者の反応	参加者には低学年の割合も多く、調理に時間がかかった。大根・にんじん(その他)だけでたくさんの料理が作れることに驚いていた。	
材 料・道 具	ダイコン、ニンジン、ゴボウ、調味料など	
備 考		


番 号	No.53	
区 分	講義	
講 座 名	日本は何人養える？ ～石油でできたコメ～	
日 時	1月24日(土) 13:30～15:30	
講 師	篠原 信(独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所)	
対 象	大人	
参 加 人 数	30名	
ね ら い	日本の農業や食の現状を学ぶ	
概 要	石油に依存する日本の農業の現状についての講義	
実 施 内 容	石油に依存する日本の農業の現状や、石油の輸入が停止した場合の日本の食糧事情などについて講義を行い、これからの日本のとるべき姿について考えた。	
参加者の反応	日本の食糧事情の現状に少なからずショックを受けていた。参加者の関心が高く、多くの質問が出ていた。	
材 料・道 具		
備 考		


番 号	No.54	
区 分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講 座 名	背骨のある動物たち	
日 時	1月31日(土) 10:00~12:00	
講 師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	17名	
ね ら い	動物の分類を学び、生きものへの理解を深める	
概 要	動物の分類について学ぶ科学教室	
実 施 内 容	哺乳類や爬虫類など、地球上の生きものを、カードを使って種類別に分類し、その違いについて学んだ。	
参加者の反応	子どもだけでなく大人も頭を悩ませながら、生き物の分類方法について考えていた。多くの種類の生きものが地球上に生息していることを改めて感じている様子だった。	
材 料・道 具	動物分類カード	
備 考		


番 号	No.55	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	古布でつくる 簡単ティッシュカバー&アクセサリ	
日 時	2月14日(土) 10:00~12:00	
講 師	板倉 三枝子 (インタープリター)	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	17名	
ね ら い	不要になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概 要	不要になった布地を使った手芸	
実 施 内 容	古布やふるしきの布地を2枚張り合わせ、ティッシュカバーを作った。また、布地と使わなくなったそろばんの玉を活用し、アクセサリも作った。	
参加者の反応	不要になった布地が立派な作品に生まれ変わり、喜んでいる参加者が多かった。アイデア次第でさまざまな作品にリメイクできることに驚いていた。	
材 料・道 具	布、ボタン、そろばんの玉、ゴムなど	
備 考		


番 号	No.56	
区 分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講 座 名	電子工作チカチカマン	
日 時	2月14日(土) 13:30~15:30	
講 師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対 象	小学生以上	
参加人数	31名	
ね ら い	電子工作を通して、電化製品などの機械の仕組みに関心を持つきっかけをつくる	
概 要	電子部品を使った電子工作	
実 施 内 容	トランジスタやLEDなど、電子部品を使って簡単な電子工作を行った。電気で動いている製品に使われている部品について学び、普段は意識しない電化製品の中身に関心を向けた。	
参加者の反応	子どもだけでなく大人も夢中になって工作を楽しんでいた。また、動かなくなっても捨てるのではなく、部品を交換することで、再び正常に動作するようになることも体験を通して学んだ。	
材 料 ・ 道 具	トランジスタ、ダイオード、基盤、はんだごてなど	
備 考		

番 号	No.57	
区 分	ボランティア1日体験会	
講 座 名	紙すき講座のお手伝い	
日 時	2月15日(日) 9:30~16:30	
講 師	eco-T事務局	
対 象	18歳以上	
参加人数	1名	
ね ら い	講座を運営する側にまわることで、人に伝えることの充実感を体験する	
概 要	エコライフを人に伝えるボランティアの1日体験会	
実 施 内 容	午前中は紙すきの練習をし、紙のリサイクルや選び方について学んだ。企業からケナフパルプの提供があり、これを使った紙すきも試験的に行った。午後はeco-T主催の紙すき講座の運営側にまわり、講座参加者の紙すきを手伝った。	
参加者の反応	参加者が1名だけだったため、インタープリターとお話をしながら和やかな雰囲気を実施したため、リラックスして参加できた様子だった。	
材 料 ・ 道 具	紙すきセット、牛乳パック、新聞紙・色紙、ミキサー、アイロンなど	
備 考	紙すき教室~再生紙をつくってみよう~との連動講座	


番 号	No.58	
区 分	工作・クラフト	
講 座 名	紙すき教室 ～再生紙をつくってみよう～	
日 時	2月15日(日) 13:30～15:30	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	14名	
ね ら い	紙すき体験を通して、紙のリサイクルについて学ぶ	
概 要	牛乳パックを使った紙すき体験とレクチャー	
実 施 内 容	親子で楽しく紙すきを行い、紙を選ぶ際のポイントや分別時の注意点などについても学んだ。	
参加者の反応	押し葉や押し花を入れることで、作品が華やかになり喜ぶ参加者が多かった。	
材 料 ・ 道 具	紙すきセット、牛乳パック、新聞紙・色紙、ミキサー、アイロンなど	
備 考	ボランティア1日体験会との連動講座	


番 号	No.59	
区 分	ワークショップ	
講 座 名	フードマイレージから食生活を考えよう	
日 時	2月22日(日) 10:00～11:30	
講 師	長嶋 一枝 (インタープリター)	
対 象	小学3年生以上	
参 加 人 数	8名	
ね ら い	食とエネルギーの関係を学び、日常の食生活を見つめ直すきっかけをつくる	
概 要	フードマイレージや食とエネルギーについてのレクチャーとワークショップ	
実 施 内 容	フードマイレージの概要についてレクチャーを行った後、パソコンや電卓を使って、自分の食べた食事のフードマイレージの算出を行った。旬や地産地消など、省エネの視点から普段の食を見つめ直した。	
参加者の反応	具体的な数字を見て、普段の食事で採っている食材がいかに遠くから運ばれているかを実感していた。国産の食品の割合を増やしたいという声が聞かれた。	
材 料 ・ 道 具	フードマイレージ測定ソフト、電卓など	
備 考		


番号	No.60	
区分	ワークショップ	
講座名	シンパシーワークショップ	
日時	2月22日(日) 13:30~15:30	
講師	浅野 智恵美(環境カウンセラー)	
対象	小学3年生以上	
参加人数	17名	
ねらい	ワークショップを通して、人間が自然に与えている影響について学ぶ	
概要	生きものと人間の関係を考えるカードゲーム	
実施内容	アイシン精機(株)が実施しているワークショップをeco-Tで実施した。前半はカードゲームの体験、後半はパワーポイントや冊子で、人間の影響を受け傷つく生き物や自然の写真を見ながら、人間のくらしが自然界の生きものにどんな影響を与えているか学んだ。	
参加者の反応	大人も子どもも、それぞれに心に訴えかけるものがあり、ゲームを通して、生き物の気持ちに近づくことにより、人間が自然界に与えている悪影響を生き物の立場で捉え、これに対して自分たちにできることは何か真剣に考えていた。	
材料・道具	シンパシーワークショップセット(NPO法人アスクネットよりレンタル)	
備考	アイシン精機株式会社およびNPO法人アスクネットの協力により実施	


番号	No.61	
区分	講義および体験	
講座名	エコドライブ体験試乗会	
日時	2月25日(水) 9:30~12:00	
講師	市交通政策課 地域インタープリター(チーム南家)	
対象	大人	
参加人数	20名	
ねらい	エコドライブの方法を学び実践につなげる	
概要	エコドライブの講義と実施体験	
実施内容	パワーポイントやDVDを使い、エコドライブの意義や効果を説明した。またエコドライブ度を測定できる試乗車を運転し、自分の運転の特長や改善点について学んだ。	
参加者の反応	実際の運転を測定することで、運転のどこに気をつけるといいのか理解することができた。エコドライブへの関心や実践への意欲を引き出すことができた。	
材料・道具	エコドライブ体験試乗車など	
備考		

番号	No.62	
区分	講義	
講座名	省エネ月間特別講演	
日時	2月25日(水) 13:30~15:30	
講師	浅野 智恵美(環境カウンセラー)	
対象	大人	
参加人数	35名	
ねらい	市民の省エネへの関心を引き出し行動につなげる	
概要	省エネに関する講演	
実施内容	家庭で取り組める省エネとして家電の使い方の紹介を行い、電気代やCO2削減量などのデータで省エネの効果を示した。またLCAやカーボンフットプリントなど、製造や流通の時点でもエネルギーが使われていることを伝え、省エネに配慮した商品を選ぶことの必要性を伝えた。	
参加者の反応	省エネの重要性を改めて認識した様子だった。カーボンフットプリントなど、今までよりも広い視点で省エネを捉えることが期待できる。	
材料・道具	手回し発電の実験キット(豆電球とLED電球)など	
備考		

番号	No.63	
区分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講座名	わりばしてっぼうと風船スライムをつくろう	
日時	3月8日(日) 10:00~12:00	
講師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対象	小学生以上	
参加人数	26名	
ねらい	ものづくりを通して科学やエコライフへの関心を引き出す	
概要	割りばしを使ったクラフトと科学の仕組みを学ぶものづくり	
実施内容	割りばしを再利用したわりばしてっぼうと、けい砂とポリビニルアルコール(PVA)を使った風船スライムをつくった。また国内の割りばしの使用量や外国からの輸入量の多さを伝え、現代の使い捨て文化を考えるきっかけを提供した。	
参加者の反応	身近にあるものが遊び道具に生まれ変わるものづくりは、子どもだけでなく保護者も楽しんでいて、レクチャーも親子でしっかり聞いていた。「使い捨て」について改めて考えてもらうきっかけになった様子だった。	
材料・道具	わりばし、輪ゴム、紙やすり、けい砂、PVA、食紅など	
備考		

番号	No.64	
区分	かんたんエコ手芸教室	
講座名	古布で作るブローチ	
日時	3月14日(土) 9:30~12:00	
講師	小泉 洋子 (インタープリター)	
対象	中学生以上	
参加人数	20名	
ねらい	不要になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概要	不要になった布地を使った手芸	
実施内容	布地を巻き取り、花びらのような形に整え、台座の上に並べてブローチを作った。	
参加者の反応	参加者同士で布地を融通し合うなど交流を深めながら、手芸を楽しんでいた。また作ってみたい、友達にプレゼントしたいなどの声が聞かれた。	
材料・道具	古布、台座用の厚紙、ボンド、ピンセットなど	
備考	読売新聞の取材あり	

番号	No.65	
区分	工作・クラフト	
講座名	手づくりメッセージカードをつくろう!	
日時	3月15日(日) 10:00~12:00	
講師	佐々木 多賀子 (インタープリター)	
対象	小学生以上	
参加人数	14名	
ねらい	不要になった包装紙を活用した工作を通して、使い捨ての暮らしを見つめ直す	
概要	包装紙を使ったメッセージカード作り	
実施内容	不要になった包装紙や色画用紙を活用して、家族や友人へのプレゼント用のメッセージカードを作った。表紙に包装紙を使い、クラフトパンチを使っているような形に切り抜いたり、開くとイラストが飛び出すようにしたりと工夫を凝らした。	
参加者の反応	包装紙や広告など新品ではない紙からでも立派な作品ができることに驚いていた。家でもまた作ってみたいという声も聞かれた。	
材料・道具	包装紙、色画用紙、厚紙、はさみ、クラフトパンチなど	
備考		

番 号	No.66	
区 分	もった博士の「かがく倶楽部」	
講 座 名	モクモクするものの正体	
日 時	3月22日(日) 10:00~12:00	
講 師	河合 良一(市民ボランティア)	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	51名	
ね ら い	二酸化炭素の持つ科学的な性質について実験から学び、理解を深める	
概 要	ドライアイスを使った実験教室	
実 施 内 容	水にドライアイスを溶かしたり、雲をつくったりと、ドライアイスを使った実験を通して、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の性質について学んだ。最後にドライアイスを使ってアイスクリームをつくった。	
参加者の反応	子どもたちが目を輝かせながら実験を楽しんでいる姿が印象的だった。また保護者も子どものその姿に感心しながら、自分自身も学びを得ることができ満足している様子だった。	
材 料 ・ 道 具	ドライアイス、牛乳、砂糖など	
備 考		